

# ろくおん通信

発行日：1991年3月15日

## NO. 32号

発行者：盲人情報文化センター録音製作係

### 第一回「音訳研修の会」のご案内

～漢字の説明とその音訳テクニック～

場所：盲人情報文化センター9階ホール 日時：1991年3月29日(金) 10:00～12:00  
テーマ：音訳者の説明が必要な漢字の実例 発題者：ICCB金曜日チーム  
参加資格：どなたでもご自由に参加できます。 費用：無料

3月から、ICCBの曜日別チームが中心になって、音訳の勉強会を2ヶ月に1回のペースで実施することになりました。勉強会のテーマや進め方は、各チームの世話役が中心になって決めていくことになっています。今回は、漢字の説明について校正基準などの理解を深めるために勉強することになりました。

### 専門分野音訳者養成講座のご案内

【目的】 ○専門分野の音訳依頼に応えられるボランティアの養成を行なう。  
○近点協録音製作委員会と共同して専門分野の共同製作チームを編成する。  
【講座の種類】 ○「英語」10名 ○「理数科」10名  
【期間】 ○91年6月～91年12月(6ヶ月間30回程度)  
○毎水曜日の10:30～12:30

#### 【講習会のカリキュラム】

- (1)発声の基礎(15回程度) <講師：新井洋子>
- (2)レコーディング・マニアル、録音技術(家庭録音を中心、5回)  
<講師：ICCB職員・近点協録音製作委員>
- (3)専門分野の実践、音訳処理など(10回程度)  
<英語分野担当：古谷 穹子>  
<理数分野担当：久保 洋子>

#### 【費用】

○無料。但し近点協加盟館からの参加者は資料代として3,000円必要。

#### 【募集要項】

- 面接、漢字読み、関係分野の簡単な資料の音訳を行なっていただきます。
- 講習会終了後はそれぞれの専門分野の音訳チームに所属し、ICCBでリクエストなどの音訳活動に携わっていただきます。
- (2)(3)のカリキュラムからは、近点協加盟館からの推薦者も参加する。

## 正誤表から・・・その9

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
禁治産	キンジサン	キンチサン	藻類	モルイ	ソウルイ
業腹	ゴウバラ	ゴウハラ	播種	バンシュ	ハシュ
逆鱗	ギャクリン	ゲキリン	極盛期	ゴクセイキ	キョクセイキ
中山道	ナカヤマドウ	ナカセンドウ	公事訴訟	コウジソショウ	クジソショウ
直答	チョクトウ	ジキトウ	宗祖	ソウソ	シュウソ

## 上手な家庭録音

## 「適正な録音レベル」

家庭での録音の場合、マイクの距離や角度、部屋の環境などとともに、如何に適切な録音ボリュームで録音するかと言うことも大切です。どちらかという、録音レベルは小さい人が多いようですので、適切な録音レベルについてふれます。

## 1. カセットデッキでの録音の場合。

家庭の場合、カセットデッキの録音が一番多いようですが、この場合適切な録音レベルを知る為には、ピークレベルメーターを見ます。しかし、このピークレベルメーターは瞬間の最高音をランプで表示する為、ほんの僅かの大きな音でも表示してしまいます。オープンテープレコーダーなどに使用されているVUメーター(針の振れによる表示)の場合は、平均値を表示していきますので、VUメーターのつもりで、カセットデッキのレベル合わせをしているとどうしても小さく録音してしまいます。ある方が適正レベルのつもりで録音したものを、VUメーターで表示させると-20にしかならないこともありました。ピークレベルメーターで調整する場合、テープのタイプによって違いがありますが、普通のカセットテープ(ノーマルタイプ)の場合、常時、0~+3程度のレベルで録音して丁度よいくらいになります。また、メタルテープなどの場合は、さらに少し大きめに録音する必要があります。説明書などを見ると適切な録音レベルの表示もしてあります。

## 2. オープンテープでの録音

カセットデッキと違い、録音レベルの表示は針がふれるようになっていますが、この針は瞬間的な最大値を表示するのではなく、常にその時の音の平均を表示しています。この場合の適正な録音レベルは-6~-3の間に常時針が振れている程度が適切でしょう。

\*\* 以上は標準的なものですが、声は個人差がありますので、自分に合った録音レベルを見つけるよう心がけましょう。

## 校正基準について・・・その4

### 誤読の指摘

録音製作係 清水賢造

今回は、誤読の問題を取りあげます。一般的に「誤読」としては

1. てにをはの読み間違い。
2. 人名、地名、漢字などの読み間違い。  
などがあげられますが、それ以外にも意味や内容から判断しての誤読として、
3. 読み方としてはあるが「意味」が違う間違い。（複数の読み方のあるもの）
4. 文章の区切り方（間の取り方）の間違い。（意味が変わる）
5. イントネーションの間違い。（意味が変わる）
6. アクセントの間違い。（意味が変わる）

などがあります。1. については、はっきりしていますのでふれませんが、2. の場合いろいろな読み方があることを念頭に校正表にあげる必要があるでしょう。一つの辞書だけに限定せず複数の辞書に当たるように心がけましょう。他の辞書には音訳者の読み方も載っている場合がよくあるからです。意味は同じで、読み方がいく通りもある場合は、訂正の必要はないでしょう。しかし、3. のような場合、複数の読み方があっても意味が違ってくる時は誤読になります。校正表で指摘するときは意味が違うことをコメントする必要があるでしょう。

4. 5. 6 などの指摘は音訳者の読み方まで指摘するようで、校正者の仕事と思っていない方もあるようですが、やはり意味が変わる読み方の場合は「重大な誤読」ですのできっちりあげるようにしましょう。音訳者は絶えず耳だけで聞いている人の立場にたって、意味が変わってとられないか注意が必要でしょう。指摘された場合は謙虚に受けとめましょう。校正者は一度耳だけで聞いてから原本と照合して校正する人が増えていますので、こうした指摘も増えるようです。

#### ○校正表の記入

校正表の記入で悩む方が多いようですが、基本は原本と違う読み方をしている場合は校正表にあげます。「てにをは」などの間違いも校正者の方で、「これくらいはいいか」とあげないでおくのはよくありません。訂正するかしないかの判断や判断基準は所属する館やグループなどの方針に音訳者が合わせるべきでしょう。

#### ○大切な調査表の作成

校正者が困る問題としては、読み方に疑問を感じたとき、音訳者が調査されているかどうか分からない時です。一応、はっきりしない時には調査しなくてはならないからです。調査表に音訳者がきっちり記入しておくことは、同じものを何回も調べる無駄な時間が省けることになるのです。調査表に記入するのは時間がかかり敬遠されるので音訳者もあるようですが、調査表をつくることは音訳者の基本的な仕事と思って欲しいものです。

## リクエスト図書一覧

下記の図書は利用者から原本を用意されて製作依頼を受けていますが、音訳してもよいと思われるグループや個人の方がいましたら、清水までご連絡ください。はじめてのグループも歓迎します。

(連絡先:03-441-0015盲人情報文化センター内線72、清水)

- 『折伏教典』／創価学会教学部編
- 『昆虫の行動』／高橋正三著
- 『Lisp/MS-DOS版エキスパートシステム構築法』／高橋邦芳著
- 『聖書のあけぼの』関谷定夫著『季刊 障害者問題研究』／全国障害者問題研究会
- 『世界史用語集』／全国歴史教育研究協議会編
- 『天文台からみた世界』／古在由秀著

音訳を引き受けて頂いた図書とグループ名

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 『地方上級国家公務員合格受験講座』 | 「ICCBリクエストグループ」 |
| 『現代俳句結社要覧』(一部)    | 「テープライブラリー西宮」   |
| 『信仰と歴史』東京神学大学神学会編 | 「ICCBリクエストグループ」 |
| 『好景 菊岡素子句集』／菊岡素子著 | 「えくてもあ」         |

### コラム

私にもやっと孫が出来て、愛らしい顔を毎日眺めて、まだ緒についたばかりのこの子の人生に、幸多かれと祈るばかりです。私のボランティアとしての産声は昭和50年で、当初の意気込んでいたテープ図書作りの取り組み方を、種々思い起こして、『初心忘るべからず』を、改めて肝に銘じています。——さて、原本を受け取ると最後までさっと目を通す、次は丁寧に一頁ずつ調査表を作りながら最後まで読む、勿論現在録音中の本と並行作業です。調査表を完成しモニターの方にも渡し検討箇所の確認、録音に入れば一回分ずつを細かいチェックを入れながら、少なくとも二、三回は声を出して下読みをする——以上は私の努力目標ですが、さて皆さんは如何ですか。もっとこれ以上の方も、又多少手抜きになることもあるかもしれませんが、自分はどんな取り組み方をしているのか、何かの節目の折りにでも考えてみられては。(河野)